



秋

～夏のダメージが残った肌と髪をきちんと
お手入れしましょう。～



豊かな実りの季節のおとずれを告げています。日射しは柔らぎ、空気は澄み、お洒落もお手入れもゆったりとした気分で楽しめる秋がやってきました。

夏を過ぎた肌と髪にとって、やっとたどりついた安らぎの季節。肌や髪のコンディションとしてこれから気になり始めるのは、気温と湿度の低下がもたらす乾燥です。肌にうるおいをたっぷり補給し夏のダメージを癒しましょう。髪に健やかな輝きを取り戻すためには、トリートメントや頭皮のマッサージをおすすめします。秋のお手入れは夏の疲れを十分に癒し、次にくる過酷な冬を乗り切るための基礎体力づくりです。ゆっくりと時間を取り、肌も心もリラックスしましょう。

皮膚と化粧品

皮膚は私たちの体を包みこみ、体内の水分を乾燥から守り生命を保持しています。この乾燥を防ぐため重要な役割を果たしているのが皮膚の一番外側にある角質層です。ヤケドなどで角質層が失われると体内の水分はどんどん失われ脱水症状を起こしてしまいます。皮膚は生命にとってそれだけ重要な役割を担っているのです。

角質層のうるおいは「水分」「NMF（自然保湿因子）」「脂質」の三つのバランスによって維持されています。このバランスがくずれると角質層の水分が少なくなり乾燥肌（ドライスキン）になってしまいます。

本当に良い化粧品とは、単に水分、保湿成分の補給や水分の蒸発を防ぐといった物理的な作用だけでなく、皮膚に力を与え、皮膚が自ら保湿成分を生み出し、みずみずしいつやのある肌を保ち続けられるように促すといった生理的（代謝作用）な働きをするということです。健康な肌をもつということは心や脳が良い刺激を受け精神や内分泌系を通じて免疫力を高めからだ全体の抵抗力を高めることにつながります。化粧品のもっている作用が深く皮膚の健康維持に関っているのです。

お客様からの質問

Q：シャンプーを毎日すると髪がぬけやすくなるのですか？

健康な髪は、自然の生え変わり（サイクル）によって1日当たり男性で80～100本位、女性で50～60本位抜けるのが普通です。極端な力を入れて髪を引っばったり、こすったりしなければシャンプーが原因で抜け毛が増えることはありません。シャンプーのときに抜けた髪はもともと抜けるべき髪だったと考えてよいでしょう。むしろ何日もシャンプーをせずに頭皮を不潔にしておくと菌が繁殖したりしてその刺激で髪が抜けやすくなることがあります。適度なシャンプーで頭皮、頭髪を清潔に保つことが大切です。頭皮は毛髪を育む重要な働きをしています。刺激が強いとその働きも弱まります。重要なことは品質が良く、マイルドで髪と頭皮にやさしいシャンプーを使うことです。

パックしてますか

パックはめんどろということまでパックをしない人もいますが、この季節にパックを始めてみてはいかがでしょうか。パックは肌の疲れをとるのに効果的です。特に夏、紫外線や乾燥でダメージを受けた肌にパックの癒し効果はてきめんです。週に数回のパックをおすすめします。皮膚の新陳代謝を促進し即効の効果をもたらします。パックは皮膚を覆って一時的に皮膚の水分の蒸発を防ぎ、血液の循環や皮膚の分泌活動を盛んにします。皮膚に適度の緊張感を与え血行を良くします。パックをすることで必要な成分を肌に充分補うとともに落ちにくい汚れや古い角質が取り除かれ皮膚が清浄になります。この結果キメが整えられハリのあるなめらかな肌になります。この季節にパックの効用を再確認してはいかがでしょうか。

